

SHIMANE
UNIVERSITY
FACULTY of
**EDU
CAT
ION**



Contact

島根大学 教育学部

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL:0852-32-6253

FAX:0852-32-6125

<https://www.edu.shimane-u.ac.jp/>

島根大学教育学部



Access

アクセスガイド

[https://www.edu.shimane-u.ac.jp/
Access/index.html](https://www.edu.shimane-u.ac.jp/Access/index.html)



MESSAGE

学部長挨拶

ようこそ島根大学教育学部へ

山陰地域で唯一の「教員養成に特化した学部」である島根大学教育学部は、平成29年度にもリニューアルを行って、「これからの教育を創造していく教師」の育成に力を注いでいます。

例えば、小・中(高等)学校免許の取得に加え、幼稚園や特別支援学校の免許プログラム、学校と社会とを繋ぐ社会教育士特別プログラム等を整備し、学校教育を俯瞰的に学ぶカリキュラムを用意しています。また、従来の「1000時間体験学修」に加え、令和3年度には附属学園敷地内に「山陰教員研修センター」を設置し、現職教員や教職大学院生と共に学ぶことのできる、高度な実践学修のための環境整備も行っています。

このように、理論と実践を往還的に学び、他者的視点を有す想像力豊かな教師を輩出することが私たちの使命であり、よりよい社会を創造できると考えているのです。

「教師になる」というあなたの夢を、ぜひとも私たちと共に実現してみませんか。

教育学部長 河添達也



島根大学教育学部は2025年で
創立150周年を迎えます

主要年表

1875年3月11日	島根県小学教員伝習所を設立
6月	附属小学校を設置
6月18日	浜田県小学伝習所を開設
1876年4月	浜田県小学伝習所を浜田師範学校と改称
10月4日	島根県小学教員伝習所を松江師範学校と改称
1878年9月	女子師範学校を設置
1886年8月	島根県尋常師範学校と改称
1898年4月	島根県師範学校と改称
1943年4月1日	島根県師範学校・島根県女子師範学校を統合し、官立島根師範学校設置
1949年	島根大学教育学部が発足



小泉八雲 1850-1904
(パトリック・ラフカディオ・ハーン(ヘルン))



島根師範学校男子部、正門付近(松江市外中原町)



山陰の自然・人・文化 それが私たちの学び舎です

山陰。そこには豊かな自然や文化があります。

それを大切に受け継いできた人たちが暮らしています。

島根大学教育学部では、恵まれた自然や歴史が息づく地域の中で、
これからの教育を創造していく教師の養成を目指します。



雄大な自然に抱かれた 古代・中世の歴史の宝庫

緑豊かな中国山地、国内屈指の大きさを誇る宍道湖・中海、ダイナミックな地形・地質が見られる日本海の海岸、希少な生物や動物が生息する島根半島・宍道湖中海ジオパーク、そして隠岐ユネスコ世界ジオパークなど、雄大な自然に恵まれた山陰地方。弥生時代には、出雲が日本海側の中心として一つの文化圏を形成していました。日本最古の歴史書である「古事記」や、現存唯一の完本風土記「出雲国風土記」に記載される出雲大社は、「國譲り神話」や「くにびき神話」を伝え、国土創世の歴史を彷彿とさせます。また、島根県西部の石見地方で盛んな石見神楽は、伝承の世界を明快なストーリーとダイナミックな演出で表現し、私たちを神話の世界に誘います。

- 1／全国屈指の夕景を誇る宍道湖は周囲47kmの汽水湖。面積は全国7番目。
- 2／創建当時、神殿の高さが約96mあったと伝えられる出雲大社。
- 3／神話の世界をダイナミックに演じる石見神楽。
- 4／隠岐諸島の西ノ島にある国賀海岸は、絶景が望める国内最大級の海崖。

4年間の学びの舞台 水と文化に囲まれた松江

島根大学教育学部のある松江市は、およそ400年前、堀尾吉晴公によって松江城を中心に形成された城下町です。大名茶人として名高い松平家七代藩主の松平治郷(不昧公)^{ひまい}が愛した茶の湯文化が浸透し、茶とともに和菓子に親しむ暮らしが息づいています。松江市に接する宍道湖・中海は海水と淡水が混ざり合う汽水湖で、豊かな自然と変わらぬ生態系が認められラムサール条約に登録されています。そして、本学部の前身である島根県尋常師範学校に英語教師として招かれた文豪小泉八雲が、作品を通して松江の暮らしや怪談を世界に紹介したことから、松江市は国際文化観光都市に指定されています。本学部の学生は、恵まれた自然環境や歴史、文化をステージに、多彩な体験を重ね教師力を高めています。

5／松江藩主松平不昧公ゆかりの茶室、明々庵の庭園。

6／明治時代の洋風建築が美しい興雲閣は、松江城山公園内に佇む。

7／松江城の堀川に舟遊する堀川遊覧船。

8／不昧公ゆかりの明々庵から松江城を望む。

9／大根島の丘にあるカフェ。近くの溶岩トンネルは火山島の成り立ちを物語る。

10／松江市内の北と南を結ぶ松江大橋。すぐそばの宍道湖畔からは日本屈指の夕景が見られる。

地域とともに 地域に根ざした教育活動

島根大学教育学部は、全国唯一のプログラム

「1000時間体験学修」をはじめ、

地域と連携した教育活動に取り組んでいます。

学外に飛び出して行う授業、

地元の伝統行事や祭り、まちづくり、ボランティアなど、

実践的な活動を通じて得られる学びを大切にしています。



カリキュラムに組み込まれた 実践的な体験活動

島根大学教育学部は、「教育実践力」「対人関係力」「自己深化力」の3つを統合した「教師力」を身につけることを目標としています。そのため、カリキュラムの各所に実践的な体験活動を組み入れています。通常科目においては、大山スキー実習(保健体育科)、島根県立美術館と連携した造形ワークショップ(美術科)、オーケストラコンサート(音楽科)など、キャンパスを飛び出して山陰のフィールドを広く使って学んでいます。また、全国唯一のプログラムとして、4年間で1000時間の体験学修を実施。教育実習のほか、地域住民による歴史などの調査会、子どもたちの校外活動、伝統行事やまちづくりなどの地域活動に参加し、机上では得ることのできない豊かな体験を通して自己を磨きます。

1／日本の灯台50選のひとつ、美保関灯台を望む。

2／学生も住民とともに練り歩く松江の伝統行事「駕行列」。

3／大学近郊にある人気のパン屋。

4／宍道湖畔の秋鹿なぎさ公園でカヌーを楽しむ。

5／美しい中海の水辺をサイクリング。

6／城下町のたたずまいを残す塩見縄手にて。

7／文豪小泉八雲が好んで訪れた城山稲荷神社。

8／中海のエスチュアリー研究センター(江島)で行う生物の観察実験合宿。

9／中国地方最高峰の大山で行う保健体育科のスキー実習。

10／旧日銀松江支店・カラコロ工房(国の登録有形文化財)にて。

11／社会科の歴史教育実践研究。専攻別体験で松江城下町の史跡を巡検。

12／県立美術館と連携し、毎年開催している美術科の造形ワークショップ。

13／松江市総合文化センタープラバホールで開催する島根大学管弦楽団定期演奏会は、授業「合奏A(オーケストラ)」の成果発表の場でもある。

14／市内で人気のセレクト書店。

15／宍道湖畔の秋鹿なぎさ公園でBBQを楽しむ。

学生生活をサポート 心地よく機能的な キャンパス

生涯を通じて何にも代えがたい大学生時代
専門知識の習得、友人との語らい、社会体験など
充実した学生生活が送られるよう、
松江キャンパスは、
設備や体制を整えサポートしています。

教育学部

開いて知ろう

徒歩圏内の附属学園と連携 4年間にわたる 体系的な教育実習

大学近辺に、附属の幼稚園、
義務教育学校が設置されています。
それらの附属学園との
緊密な連携により、
4年間を通じた教育実習が可能です。

松江キャンパス



キャンパス広場



教育学部棟の前で



附属図書館

教育学部附属学園



附属幼稚園



附属義務教育学校前期課程



附属義務教育学校後期課程



講義室



学生食堂



教育学部棟

充実のキャンパスライフを可能に 機能的な環境と豊かなフィールド

島根大学教育学部は、松江キャンパス内にあります。JR松江駅から北へ2kmあまりで、キャンパスの広さは甲子園球場のおよそ5個分。島根大学前のバス停を降りると目前に正門があり、美しい並木の続くメインストリートが続いています。教育学部棟は、そのメインストリートをしばらく進んだ左手の大きな建物です。ここに全ての専攻の研究室や講義室、資料室、理科実験室、美術実習室、音楽練習室、体育実習室、技術や家庭科の実習室などが入っています。教育学部棟のすぐ側には学生センターがあり、学生の修学や生活面をサポートしています。そして、メインストリートの突き当たりの正面と左手には学生食堂があります。左手の学生食堂の前には、キャンパス内には珍しく、5世紀後半頃の「菅田丘古墳」があり、土地の歴史を知ることができます。さらにメインストリートの突き当たり右側には、蔵書数およそ100万冊の附属図書館が学生の学習活動を支えています。



大学から徒歩圏内にある附属学園

学校教育実習は、教員になるうえで不可欠な「教育実践力」を養う時間です。島根大学教育学部では、学校教育実習も「1000時間体験学修」の一環として多くの時間が充てられています。その実習の現場となる附属学園がキャンパスから徒歩圏内にあり、即戦力として活躍する教員の養成をきめ細やかにできる体制が整っています。実習を行う附属学園は、幼稚園、義務教育学校前期課程(1~6年)、後期課程(7~9年)の3つが同じ敷地に配置されており、相互に行き来できる造りになっています。本学部の学生は、4年間継続して附属学園と緊密に連携し、教育実践力を育みます。

島根大学教育学部の 教育目標

子どもへの深い理解と愛情、教職への真摯な意欲と情報を基盤しながら、これからの中学校教育を担う教師に求められる「教師力」を身につける事を教育目標とします。

皆さんはどの教育職員免許状(教員免許)が取りたいですか?



5つ全ての教員免許を取得可能

これらすべての教員免許が揃うのは
山陰地域では島根大学だけ

島根大学の4年間ですべてを取得可能です。

島根大学教育学部の 教員免許 取得のしくみ

主専攻
ほぼ自動的に
免許が取れる
(1枚目)*
+
*主専攻で2枚教員免許が取得できるケースもあります

副専攻
必修+ α の単位で
免許が取れる
(2枚目)
+

免許
プログラム
選択・自由枠の単位の
工夫で免許が取れる
(3枚目~)

主専攻・副専攻のどちらかを中等系(各教科)、
もう一方を初等系としており、
小学校・中学校の
免許2枚の取得を目指します
(小・中免許併有)

中学校の教員免許を複数取得
できます。高等学校の教員免許も
必要な単位を修得することで取得
可能です。

皆さんの島根大学教育学部での学びを デザインしてみましょう

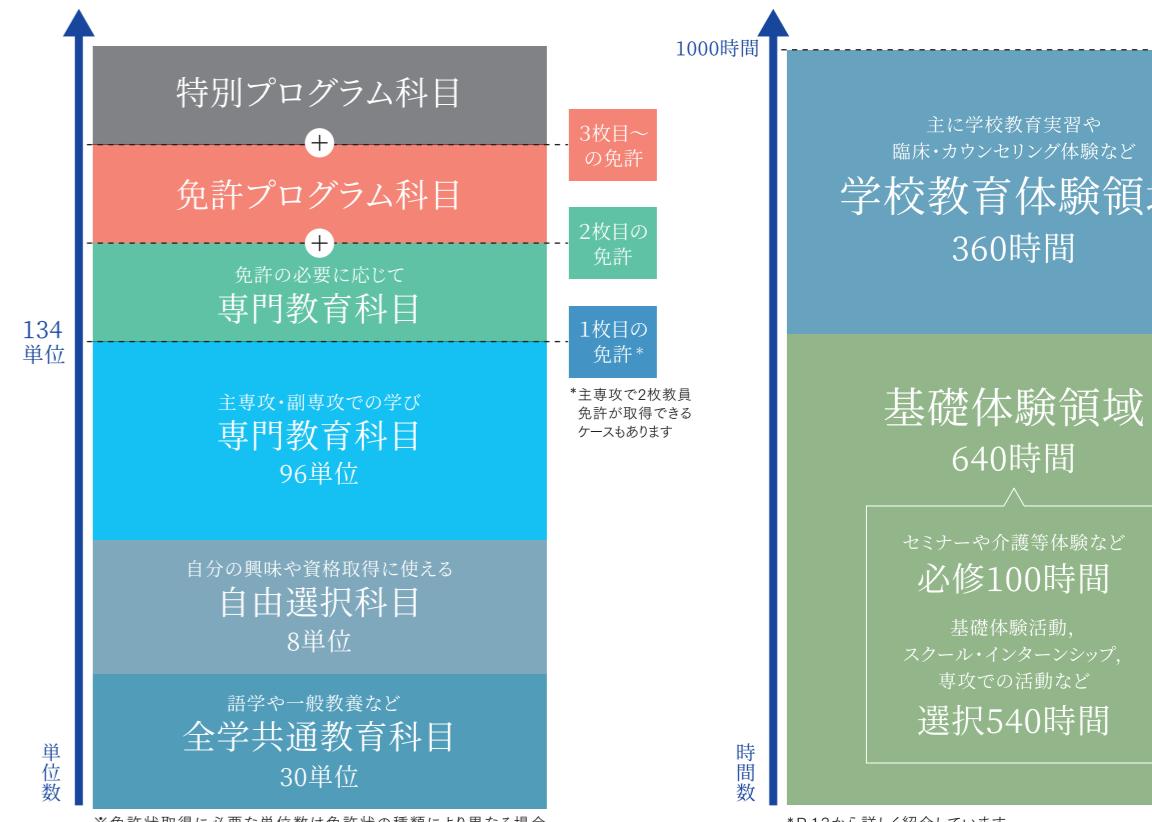


島根大学教育学部の学びのシステムは、主専攻+副専攻+免許プログラムに加えて、教育現場で広く活用できるスキルや資格が得られる特別プログラムを組み合わせることで4年間の学びをデザインできます。どの校種(幼・小・中・高・特別支援)の免許を何枚取得したいか、どの資格やスキルを組み合わせたいか、皆さんでデザインしてみてください。「小・中免許併有」が基本ですので、主専攻で初等系(小学校・特別支援)を選んだ場合は副専攻は中等系(各教科)に、主専攻で中等系(各教科)を選んだ場合は副専攻は初等系(小学校のみ)となります。免許プログラムと特別プログラムは希望に応じて選択することができます。

卒業要件について

教育学部を卒業するには、所定の134単位以上を修得することに加え、教育体験活動(1000時間)に参加した時間数が1000時間以上に達していることが必要です。

134単位以上 + 教育体験活動1000時間*以上



4年間の学びのイメージ



*専攻によって多少内容は異なります。

1

1000時間体験 学修プログラム

全国で唯一の
教師力を育む学び



※写真右下の枠内色と数字は、P14の「学生参加種別割合」に対応します。

「理論と実践」の往還を実現

学校教員に求められる「教育実践力」は、大学における理論的な学修によってのみ身につくものではありません。子どもとの直接的なふれあいなど、多様な実践的経験によって「理論と実践」を統合し、修得するものです。本学部の「1000時間体験学修」は、さまざまな地域・教育活動に取り組む「基礎体験」、教育実習やカウンセリング演習などを中心とした「学校教育体験」を積み上げながら、教員として必要な実践力を獲得していきます。全国に先駆けて始めたこの教員養成プログラムは、10年を越える実績とノウハウを蓄積し、学生の皆さんをサポートします。



子ども・地域・学校とかかわり、
教師力を身につける

基礎体験領域

「基礎体験領域」とは、学校での学習支援、子どもたちの活動支援、専攻の学修を深める専攻別体験・演習等への参加を通じて、子ども・地域・学校と主体的にかかわりながら、教員に必要な社会性や豊かな人間性を育成する場です。さまざまなプログラムの中から、興味・関心のあるものに参加して学修します。活動を通して自分の課題に「気づく」、その課題の解決に向けた活動の方向性を「つかむ」、活動への取り組みを「深める」という段階を経ながら進めていきます。

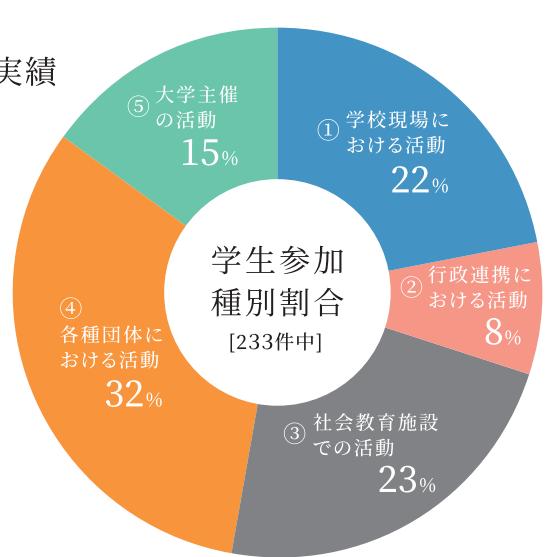
基礎体験活動の実績
(令和3年度)

受入団体数

133件

募集活動数

233件





※写真右下の枠内色と数字は、P14の「学生参加種別割合」に対応します。

活動する3つの フィールド

学生の皆さんは、島根・鳥取両県の学校、社会教育施設、行政機関、福祉施設、民間団体、NPOなどから応募されてくる様々な活動の中から、自分で活動を選択して取り組んでいきます。



地域の様々な活動を通して、直接子どもとかかわることで、発達段階に応じた適切なかかわり方を学ぶことができます。

例 学童クラブ支援、子どもの体験活動補助、子どものスポーツ・音楽活動支援など



社会教育施設や地域の各種団体の取り組みにかかわることで、地域社会の一員としての自覚と責任感を身につけることができます。

例 地域の活性化に向けた取り組みへの参加、宿泊研修施設や公民館等の事業支援など



地域の伝行事への参加④

書写の学習支援参加①

PICK UP! 教育実践力の 向上をサポート

島根県側

鳥取県側

経験豊富な現職学校教員を学部教員として招聘し、主に基礎体験領域での指導・助言に携わってもらっています。(島根・鳥取県教育委員会との交流人事教員)

島根・鳥取両県の学校や児童クラブ、公民館、博物館など、多種多様な教育施設や事業所に学生の皆さんを受け入れていただいています。日常的に子どもたちと関わることで、また教育活動を支える地域の方々と接することで、教育者を目指す強い意識が育まれています。「理論と実践の往還」の実現。それが「1000時間体験学修」に籠めた私たちの願いです。

准教授 錦織 稔之

基礎体験活動における事前・事中・事後指導の際には、学生の皆さんが考えられた目標や成果、課題が、教育現場での、どのような実際とつながっているのかということを、具体的に伝えられるよう心がけています。自らの取り組みに対して、意義を明確に捉えてもらうことで、活動への意欲や終えた後の充実感・達成感につながればと考えています。

准教授 田中 英也



教育実習を通して、教師力を身につける 学校教育体験領域

「学校教育体験領域」とは、附属幼稚園・附属義務教育学校での360時間*を必修とする充実した教育実習を通して、教員に必要な教育実践力や資質を身につけていくものです。教育実習は子どもとのふれあい体験、授業観察、授業計画・設計、授業実践、学級経営のトレーニングなどの段階を踏みながら体系的に行われます。また、大学の講義や演習で学んだことを教育実習で生かしたり、教育実習で得た疑問や关心に基づいて大学での研究を進めたりするなど、理論的学修とリンクしながら学びを深化させます。

*臨床・カウンセリング体験(60時間)を含む時間数です。

1年 教わる側から教える側へ

学校教育実践研究I [20時間]

学校教育実習Iの事前・事後指導を行います。大学4年間の学びにおける教育実習の位置づけを理解するとともに、「教わる側」から「教える側」への視点の転換を図ります。また、教師に必要なコミュニケーション能力(話す・聞く)と授業を観察する目を養うトレーニングは、これからの教育実習の基盤となります。

学校教育実習I [20時間]

附属幼稚園・附属義務教育学校で3日間の授業観察実習を行います。授業を「観察する」「記録する」「協議する」という3つの活動を通して、「教師」を初めて体験します。幼稚園児から中学生までの子どもを「成長・発達」の総体としてとらえ、「教師としての立場」から学校を把握し、教職への理解を深めています。

体験で養う3つの「教師力」

「教師力」その1	「教師力」その2	「教師力」その3
授業を観察・分析する力	授業を構想する力	授業を実践する力
授業を「観察する」「記録する」「仲間と協議する」という体験を通して授業の構造を理解します。わかりやすい授業に隠されている教師の工夫を見つけることができるようになります。	教材研究と教材および学習指導案を作成し、模擬授業を通して指導案の検討を進める中で、授業を構想する力を育てます。	これまで培ったスキルを基盤に、実際に子どもの前で授業を実践することになります。教科や教える内容についての専門的な知識と授業を行うパフォーマンス力が実習の中で融合されます。



2年 授業設計の基礎を培う

学校教育実習II [20時間]

2年生では主専攻ごとに実習を行います。附属義務教育学校で主専攻の授業を観察して授業について協議したり、指導案や教材の作成にかかわる活動をしたりします。また、模擬授業演習を行うことによって授業をつくる体験をします。





3年 授業実践力を身につける

学校教育実践研究II [40時間]

「学校教育実習III・IV」の事前・事後指導です。主専攻に対応する校種・教科の授業実践に焦点化し、児童・生徒の理解を基本とした授業分析、教材研究と教材制作のトレーニング、学習指導案作成や模擬授業を行います。

学校教育実習III・IV [160時間]

主専攻に対応した4週間の教育実習(IIIで1週間、IVで3週間)です。実習IIIは観察を主体とし、実習IVは授業を実際に行う教壇主体の実習になります。教科指導、学習集団の形成や学級経営にかかる実践的なトレーニングです。

学校教育実習V [40時間]

副専攻の校種・教科に対応した観察主体の教育実習です。学齢期にある子どもの「成長」、「発達」をより長いスパンから捉え、子ども理解を深めます。また、教職に進む自分の適性がどちらの校種にあるのか、見定める機会にもなります。



4年 授業実践力の深化と教職へ向けて

学校教育実習VI(選択) [40時間]

3年間の実習を基礎に、教職志向に応じ希望者が主体的に履修する教育実習です。副専攻での学習を深めるとともに、これに対応した校種・教科で行います。それぞれの目的に応じて1週間の実習を行います。



島根大学教育学部の学び

○ 育成を目指す教師像

- 学び続ける教師
- 教育実践を省察する教師
- 社会における未来を創造する教師

○ 地域や学校現場で学ぶ 1000時間体験学修

- 地域へ(基礎体験領域)多彩な教育活動や地域活動に参画
- 学校へ(学校教育体験領域)附属学園での4年間の教育実習
- 教育体験活動1000時間+所定単位修得で卒業

○ 地域との連携

- 島根県教育委員会・鳥取県教委育委員会との密接な連携
→山陰教師教育コンソーシアム
- 地域教育魅力化コーディネーター(社会教育主事)の育成

○ 学生の支援体制

- あなたの成長を可視化→学修ポートフォリオ
- 1000時間体験で困ったら→ 教育支援センター
- 教員採用試験対策→島根大学未来教師塾
- 就職に関する情報が満載→就職支援室

○ グローバルな教師の養成

- 米国やアジア等海外の学校視察・留学
- 留学生とともにを行う教育実践
- 国内に在籍する外国籍児童に対する教育支援活動
- ミシガン州立大学、バージニア・コモンウェルス大学等と連携

○ 小・中教員免許併有を目指す 主専攻・副専攻制

- 幼・小・中・高・特別支援の全ての免許が取得可能
- 教科指導に強い小学校教員の育成
- 小学校での学びや児童の発達を理解した中学校教員の育成

3つの視点から
「カウンセリングマインド」を育てる

臨床・カウンセリング体験

実習1 生活指導・進路指導・保護者支援(C系)

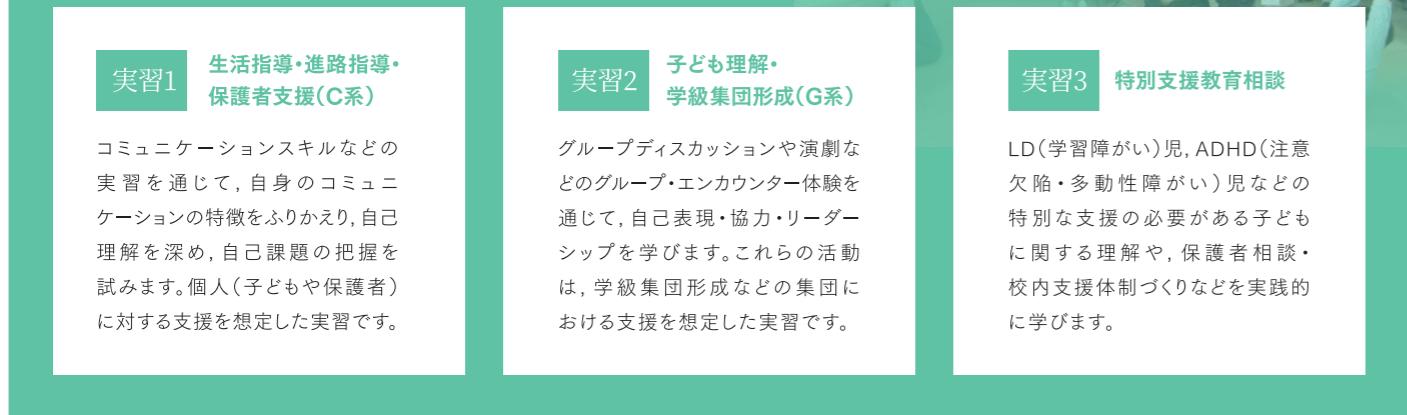
コミュニケーションスキルなどの実習を通じて、自身のコミュニケーションの特徴をふりかえり、自己理解を深め、自己課題の把握を試みます。個人(子どもや保護者)に対する支援を想定した実習です。

実習2 子ども理解・学級集団形成(G系)

グループディスカッションや演劇などのグループ・エンカウンター体験を通じて、自己表現・協力・リーダーシップを学びます。これらの活動は、学級集団形成などの集団における支援を想定した実習です。

実習3 特別支援教育相談

LD(学習障がい)児、ADHD(注意欠陥・多動性障がい)児などの特別な支援の必要がある子どもに関する理解や、保護者相談・校内支援体制づくりなどを実践的に学びます。



from 在学生

1000時間体験学修(基礎体験領域)について

大きな刺激になり
視野が広がるきっかけに

1000時間体験学修で、ジャンル問わず色々な活動に参加してみて良かったと思っています。とにかく楽しそう!と思った活動にフットワーク軽く飛び込んでいく中で、様々な場面で活動する子どもたちや地域の方、大学生と出会い、この出会いが自分にとって大きな刺激になり、視野が広がるきっかけになりました。



特別支援教育専攻 3年
駿馬 香穂
島根県出身

自分の新しい力を
磨いていく大切な機会

子どもと接していくと、講義の中では知ることができない実際の子どもの姿に出会います。体験に参加する中で実践して考えることを繰り返し、自分の新しい力を磨いていく大切な機会となっています。



社会科教育専攻 3年
浅田 祐貴
京都府出身

偏差値、知名度にとらわれず
自分でカリキュラムなどを調べて熟考してください!

大学周りの物件の値段が
金額的余裕ができる
安価であるため

ネットに書かれている偏差値が全てではない、
自分の学びたいことがしっかり学べる大学を
目指してほしいと云えたいです

メアリーモード
自動車
ヤード車
便利

カリキュラムの
掲載されているページは
熟読した方が良い

プログラムが
充実しています

大勉自
堂強分
にがが
行で興
くき味
のるの
がい
い

志望する大学と他の大学との違いをしっかり調べることが大切だと思います。
視野を広くして調べていくことも大切だと思います

最後まで諦めないことを後輩に伝えたい

MESSAGE & VOICE

在学生・卒業生から

from 在学生

1000時間体験学修(学校教育体験領域)について

何をすべきかが明確になり
多くのものを学ぶことができた

実習を通して、子どもの成長を見守り、時には手助けすることのできる教師という仕事の魅力を知りました。子どもたちの「分かった!」「できた!」という言葉1つがすごく嬉しかったです。また、自分の未熟さを実感しました。ベテランの先生方の姿を見て「自分もあんな風にできるようになりたい」と何度も思いました。実習で自分の足りないところを見つけたことで、教師になるまでの残りの期間に何をすべきかが明確になりました。実際の教育現場でしか体験できないことがあります。子どもたちや実習先の先生方、実習生仲間から、多くのものを学ぶことができた教育実習でした。



初等教育開発専攻 4年
西川 奈津実
鳥取県出身

教育実習で見つめ直す
自分の姿

教育実習において子どもたちや先生方と関わったり実際に授業をしたりする中で将来教師として働く自分の姿をイメージすることができました。また、さまざまな体験を通して教師としての自分の強みや改善点を発見することができます。そのため教育実習は成長するきっかけになります。1回生から4回生までの間に教育実習が複数回あるからこそ教育実習は「教師になりたい」という気持ちを改めて確認できる場となりました。



数理基礎教育専攻 4年
熊野 辰紀
島根県出身

協働活動で得た
多様性を認める大切さ

「地域の発展に貢献したい」という思いがあったので、島根県で教員になることを決めました。学生時代の体験で一番印象に残っているのは、留学生との協働活動です。文化や価値観の違う学生と1つのことを成し遂げることは大変で、大きなカルチャーショックを受けたり、もどかしい思いをしたりしました。しかし、自分の物の見方や考え方を見つめ直すとてもいい機会になり、多様性を認めることが大切について考えるきっかけとなりました。教育学部の良さは、1000時間体験学修や協働プログラムなど、体験を通して学べる機会が多くあることです。その生きた体験が、子どもの言動の背景を考えることや、一人一人の個性や多様性を認めることに繋がっていると思います。

島根県
浜田市立第四中学校 教諭
池辺紗英
2020年3月
言語教育専攻卒業

多くの出会いと体験で
広がった価値観

さまざまな領域の活動を体験できる教育学部で、多くの先生や友だちの考え方にお会いました。おかげさまで学校の現場で自分と違う価値観の人と出会ったとき、「そういう考え方もある」と受けとめることができていると感じています。「〇〇でなければならない」ではなく、「その考えも面白い」と思えるのです。現在、子どもたちの「できた」「わかった」を聞くために授業を研究しているとき、笑ったり驚いたりする感覚を共有しているときなど、とてもやりがいを感じています。同時に、子どものさまざまな困り感にも出くわします。そのようなときにも、「これはこう」と決めてかかるのではなく、子どもたちの気持ちに寄り添うことのできる先生でありたいと考える日々です。

鳥取県
米子市立啓成小学校 教諭
永原昇悟
2020年3月
初等教育開発専攻卒業

島根の自然と人が好き
学校づくりの夢を抱いて

他県出身ですが、島根人の温かさや自然が好きになり、島根県で小学校教諭の職に就きました。島根大学教育学部を選んでよかったのは、何より1000時間体験学修です。1回生からスタートする教育実習で、実際の学校現場を早くから知ることができました。また、海外研修や海外学生の受け入れがあり、意見交換を通じて海外の教育を学べることも魅力です。私は、そこで積極性が得られました。現場で悩んだときはそのままにせず、先輩に聞いたり、セミナーで学んだりしているのは大学での経験があったからだと思います。可能性を引き出し、自分を信じて挑戦し続ける子どもを育て、将来は島根県で学ぶ子どもたちが安心して通える学校をつくりたいです。

島根県
浜田市立石見小学校 教諭
吉村 鈴
2021年3月
言語教育専攻卒業

学生生活支援

授業料免除制度 ▼

経済的に授業料の納入が困難で成績優秀と認められる学生に対して、

半期ごとに授業料の全額または一部を免除する制度があります。

大学部
大学等における修学に関する法律により、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生を対象に授業料の減免(全額免除、3分の2免除、3分の1免除)を行います。家計及び資産の要件のほか、学力や申請のための要件を満たす必要があります。

次のような場合には、本人の申請に基づき、選考のうえ、授業料の全額または半額を免除することができます。
(1) 経済的理由により授業料の納入が困難であり、学業成績が優秀である場合。
(2) 各学期開始前6ヶ月以内(ただし、新入生の場合、前期分に限り入学前1年以内)に学資負担者が死亡した場合、または本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合。

入学に要する費用 ▼

● 入学料／**282,000円**

※金額は予定額を示しています。

● 授業料／年額：**535,800円**

半期：**267,900円**

奨学金制度 ▼

日本学生支援機構奨学金のほか、地方公共団体または民間団体による奨学金制度で大学を経由して応募するものもあります。

① 日本学生支援機構奨学金

(無利子貸与)	[学部] [自宅通学]2万円・3万円・4.5万円から選択 [自宅外通学]2万円・3万円・4万円・5.1万円から選択
	[大学院] [修士・博士前期課程]5万円・8.8万円から選択 [博士後期課程]8万円・12.2万円から選択

② その他の奨学金

地方公共団体または民間団体による奨学金制度があります。地方公共団体の奨学金については、都道府県市区町村の教育委員会で直接取り扱っているケースも多いので、出身地等の教育委員会に問い合わせてみてください。

③ 夢チャレンジ奨学金

学部1年生(私費外国人留学生を除く)の入学後の1年目にかかる経済的負担の軽減と充実したキャンパスライフや将来の夢に向けたチャレンジを応援するために設けられた本学独自の奨学金制度です。奨学生には返還の必要のない給付奨学金20万円が支給されます。申請には授業料の全額免除条件を満たす者であること等条件がありますので、HP、掲示により確認をしてください。

④ 授業料等奨学融資制度

経済的に授業料及び入学料の納入が困難で、修学に支障がある学生が、大学が提携している山陰合同銀行から融資を受けることができる制度です。返済は卒業後で、在学中は本学が奨学援助金として利子を負担します。

卒業認定・学位授与に関する方針

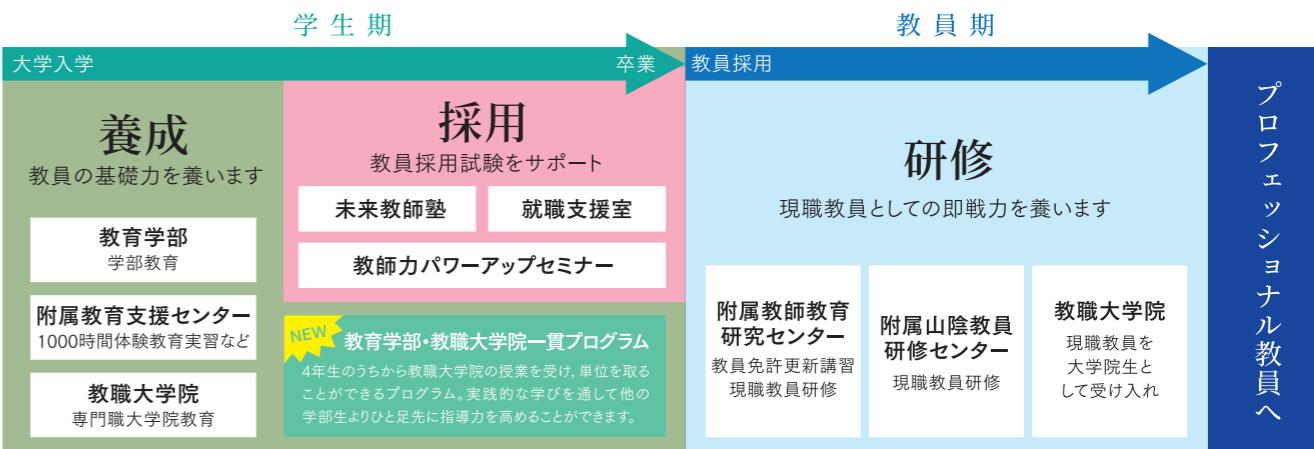
(ディプロマ・ポリシー)

人材育成の目標

- ① 学び続ける教師
- ② 教育実践を省察する教師
- ③ 社会における未来を創造する教師

分野	到達目標	分野	到達目標
①(普遍的教養)	人間・社会・自然に関する幅広い教養を身につけています。	⑦社会参加	社会的な要請や自己の関心・専門性に応じて、社会的な活動に参加することができる。
②学校理解	学校での教育実践を広く社会的な制度や歴史の中に位置づけてとらえたり、授業や一人ひとりの子どもへの指導の基礎となる学級を経営したりすることができます。	⑧コミュニケーション	子どもと関わる場面や社会的な場面、研究的な場面のそれぞれにおいて、相手や目的に応じて適切なコミュニケーションを行うことができる。
③学習者理解	一人ひとりの学習者の特性に沿った必要な支援を行ったり、発達段階をふまえた指導を行ったり、学びを深め合う学習集団を組織したりすることができます。	⑨探究力	自己の興味や関心にしたがって、専門的な領域や特定の問題についての問題意識や知識・能力を深めることができます。
④教科知識・技能	各教科等の指導内容や、その基盤となる専門領域に関する知識や技能を身につけています。	⑩教師像・倫理	社会人としての人間観・倫理観を基盤としながら、教師として特に必要な倫理観や理想とする教師像を持ち、それに照らして日常の教育実践をとらえることができる。
⑤授業実践	的確な教材分析をふまえて授業を構想・実践したり、授業をふりかえって評価したりすることができます。	⑪リテラシー	社会のあるいは専門的な情報について、様々な方法で受容したり発信したりすることができます。
⑥リーダーシップ・協力	大学における学習・研究や体験学修、社会参加など、集団活動の場面において、リーダーシップをとったり、協力したりすることができます。		

島根大学教育学部では皆さんの教員人生を生涯サポートする体制を用意しています



就職実績

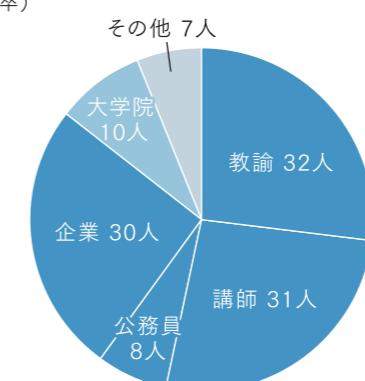
令和4年5月現在

- 卒業者数／118人(令和4年3月卒)
- 就職希望者数／101人
- 就職者数／101人

就職率

100%

- 就職101人(教員含む)
- 大学院10人
- その他7人



地域別入学者・志願者数

(平成31年度～令和4年度)

